

ファシリテーションの スタートライン

— “話し合い” を促進することの本質に触れる一日 —

活用すると話し合いがうまくいくと言われているファシリテーション。職場で、地域社会で、教育の場で、あるいは家庭でもファシリテーションの必要性を実感している方は増えています。そもそもなぜ私たちは話し合おうとするのでしょうか？そして話し合いを促進するとはどういうことなのでしょうか？今ここで、改めてその意義を考えてみませんか？

2018.
2.17 (土)

時間/10:00~17:30 (9:30受付開始)
会場/スクエア荏原 (東京都品川区荏原4-5-28)
参加費/会員 3,000円、非会員 4,000円、学生 2,000円
※昼食代 (お弁当、お茶) を含みます。

申し込みは、下記サイトにて受付中です！

https://passmarket.yahoo.co.jp/event/eventoption/edit?event_id=01k9gazb5i5n



【会場ご案内】

東急目黒線武蔵小山駅
東急池上線戸越銀座駅・荏原中延駅 徒歩10分
都営浅草線戸越駅 (A3出口) 徒歩12分
東急バス 五反田駅西口8番のりば
「世田谷区民会館」行「平塚橋」下車徒歩5分

【プログラム概要】

今年度のFAJ東京支部イベントは、ネイティブアメリカンの長老たちのお話やそこから得られた先住民の叡智からの学びを通して、ファシリテーションの原点ともいえる**“輪になって語る”意味を考える**全体ワークショップからスタートします。午後は、実際に「輪になって語る」対話の体験をしていただきます。

それはまさに**「ファシリテーションのスタートライン」**。そのラインの手前にいる人にとっても、既に走り始めた人にとっても、共に語り合いファシリテーションの本質に触れる一日。もちろんファシリテーションに初めて触れる方にとっては、まさにここからがスタートです。このイベントを通して、ファシリテーションの**“スキル”**と**“ころ”**を学び取っていただくことができることでしょう。

是非多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

時間	内容
09:30	開場 受付開始
10:00	午前の部：「“輪になって語る”意味を考える」 ファシリテーター 中野民夫さん (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授、FAJフェロー)
12:30	昼食 (弁当付き)
13:30	午後の部：「“輪になって語る”体験からファシリテーションの本質を探究する」 1) この指とまれ分科会 それぞれの関心のあるテーマごとに集まり、小グループで“輪になって語る” 2) 分かち合いの場 一日の体験をふりかえりながら、“スキル”と“ころ”の2つの視点からファシリテーションの本質を探究し、それぞれのファシリテーションのスタートラインを考える (中野民夫さんと実行委員会の協働プログラム)
17:30	終了
18:00	懇親会 (希望者のみ)



【ファシリテーターご紹介】

中野 民夫 (なかの たみお)

ワークショップ企画プロデューサー 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

1957年生。東京大学文学部卒。30年の広告会社勤務を経て、同志社大学教授を経て、2015年秋から現職。大教室でも参加型の授業を展開。1990年前後に休職留学したカリフォルニアの大学院CIISで組織開発やワークショップについて学ぶ。以後、会社勤めの傍ら、人と人・自然・自分自身をつなぎ直すワークショップやファシリテーション講座を実践。

主著に「ワークショップ」(岩波新書)、『みんなの楽しい 修行』(春秋社)、『ファシリテーションで大学が変わる』(共編著、ナカニシヤ)など。

お問い合わせ先

日本ファシリテーション協会 東京支部イベント実行委員会

Email : fajt-event-grp@fajmem.org